

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) 診療ガイドライン 2019 ～HTLV-1 陽性関連リウマチ & HTLV-1 陽性臓器移植 診療の対応を含めて～

日本神経学会、日本神経治療学会、日本神経免疫学会、日本神経感染症学会、日本 HTLV-1 学会、日本移植学会

日本神経学会ガイドライン統括委員会、厚生労働省「HAM ならびに HTLV-1 陽性難治性疾患に関する国際的な総意形成を踏まえた診療ガイドラインの作成」研究班、「HTLV-1 関連脊髄症 (HAM) 診療ガイドライン 2019」作成委員会 (委員長: 山野嘉久 聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター 教授)

南江堂、2019 年 6 月 5 日発行

Minds 掲載 有

■1 漢方薬 (牛車腎気丸、八味地黄丸)

疾患:

過活動膀胱

有効性に関する記載ないしその要約:

神経因性膀胱の検査と治療の薬物療法の項に、下記の記載がある。

『漢方薬: 過活動膀胱などの症状緩和目的や、有害事象などにより他剤の内服ができない場合に牛車腎気丸や八味地黄丸などの漢方薬が使用されることがある。尿勢や残尿量など他覚所見の改善までは期待できない。』

副作用に関する記載ないしその要約:

一般的に使用される内服薬とその投与量の表中に、八味地黄丸と牛車腎気丸に関して下記の記載がある。

『主な有害事象: 肝機能障害、間質性肺炎など』

備考:

一般的に使用される内服薬とその投与量の表中に、「薬剤の分類: 漢方薬、一般名: 八味地黄丸 (一般的な投与量: 6.0g、7.5g を 1 日 2～3 回分割投与) 、一般名: 牛車腎気丸 (一般的な投与量: 1 日 7.5g 2～3 回分割投与) 」と記載されている。